

国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

1 主旨

「継続は力なり」という姿勢を基本にし、地方創生の目指すべき将来や、令和2年度（2020年度）を初年度とする今後5か年の目標や施策の方向性等を策定する（【資料1】1ページ）。

2 地方創生の目指すべき将来

将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と「東京圏への一極集中」の是正を目指す（【資料1】22ページ）。

3 第2期「総合戦略」における基本目標

（1）基本目標

国の第2期「総合戦略」では、第1期の成果と課題等を踏まえて第1期の政策体系を見直し、4つの基本目標と2つの横断的な目標の下に取り組む（【資料1】23ページ）。

基本目標1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

基本目標2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

横断的な目標1 多様な人材の活躍を推進する

横断的な目標2 新しい時代の流れを力にする

※国の第1期「総合戦略」における基本目標

基本目標1 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

基本目標2 地方への新しいひとの流れをつくる

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

（2）主な見直し内容

ア 横断的な目標の追加

①多様な人材の活躍を推進する

多様な人材が活躍できる環境づくりを積極的に進めるとともに、若者、高齢者、女性、障害者、外国人など、誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会を目指す。

②新しい時代の流れを力にする

地方における Society5.0 の実現に向けた技術（未来技術）の活用を強力に推進するとともに、持続可能な開発目標（SDGs）を原動力とした地方創生を推進する。

イ 基本目標の見直し

①基本目標 2 「地方とのつながりを築く」観点の追加

地域外から地域の祭りに毎年参加し運営にも携わる、副業・兼業で週末に地域の企業・NPO で働くなど、その地域や地域の人々に多様な形で関わる人々、すなわち「関係人口」を地域の力にしていこうことを目指すなど、地方とのつながりの強化に向けて、地域に目を向け、地域とつながる人や企業を増大させることを目指す。

②基本目標 1、4 「ひとが集う、魅力を育む」観点の追加

稼げる地域をつくり、賃金ややりがいの面で魅力的なしごとの場を地方に創出するとともに、地域における所得の向上を実現する。また、質の高い暮らしのためのまちの機能の充実に取り組む。

4 県の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の考え方

埼玉県においては、現在、国の第2期「総合戦略」を踏まえ、第2期総合戦略の策定作業を進めている。主な内容は次のとおり。

- （1）現在の埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略を基本的に踏襲する。
- （2）基本指標及び重要業績評価（K P I）は原則として継続する。
- （3）国の第2期「総合戦略」等を勘案し内容の一部見直しをする。

※県の第2期総合戦略（素案）における主な見直し内容

- ①まち・ひと・しごと創生に向けた考え方への「新しい時代の流れへの対応」の追加
- ②4つの基本目標の名称に変更なし（主な施策レベルでの加筆修正や時点修正はある）

基本目標 1 県内における安定した雇用を創出する

基本目標 2 県内への新しいひとの流れをつくる

基本目標 3 県民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る